

地震体験車を更新

令和6年の能登半島地震を始め、近年地震が頻発していることや南海トラフ地震の発生確率が年々上昇していることから、地震災害への備え等に対する市民の関心は高まっています。

実際の揺れを体感し震災を疑似体験することは震災について考えるきっかけづくりになるため、次代の担い手である子供たちが自然災害を知る教養材料として、このたび、平成13年以降約25年にわたり運用していた車両を更新しました。

本地震体験車の最大の特徴として、3つの用途に対応できる車両となっています。

①起震車としての用途 ②電源車としての用途 ③ビジョンカーとしての用途

震動装置電源に「バッテリー発電方式」を採用することで、騒音及びCO₂がゼロとなり、災害等でライフラインが遮断された場合でも電源車として使用できる構造となっています。

バッテリー電源方式はランニングコストに優れたリチウムイオン電池を採用することにより、排気ガスの排出が無く、屋外屋内を問わない運用が可能となっています。

また、地震体験で使用するモニターを張り出し、屋外での訓練及び訓練指導等で映像を流せる仕様となっています。

地震体験車是那賀消防管内の防災訓練や防災啓発活動のために運用し、災害に強いまちづくり・人づくりを進めてまいります。



地震体験車



ビジョンカー仕様



資機材収納庫（奥の扉を開けると体験室に繋がっています）

地震体験仕様



納車式